

衛生だより

ランピースキン病が発生！！（国内初）

令和6年11月6日、福岡県の乳用牛飼養農場において、国内では初めてとなるランピースキン病の発生が確認されました。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。



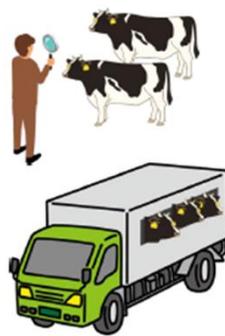
疑わしい場合は
直ちに連絡！

写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

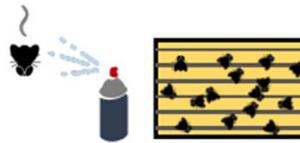
01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



主に、蚊、ハエ、
ダニの媒介による機械的伝播や、
感染した牛の移動により感染が
拡大します。

03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

まん延防止のために

- 牛を定期的に観察し、本病を疑う場合は速やかに隔離して獣医師又は家保に連絡
- 他の畜産施設で使用した器具は原則として農場内に持ち込まない
- 血液を介しての感染防止のため、注射針、人工授精用器具その他体液（生乳を除く。）が付着する物品の1頭ごとの交換および消毒

千葉県北部家畜保健衛生所 TEL 0478-54-1291 FAX 0478-54-5996

※急性悪性家畜伝染病（口蹄疫等）の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。
※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。